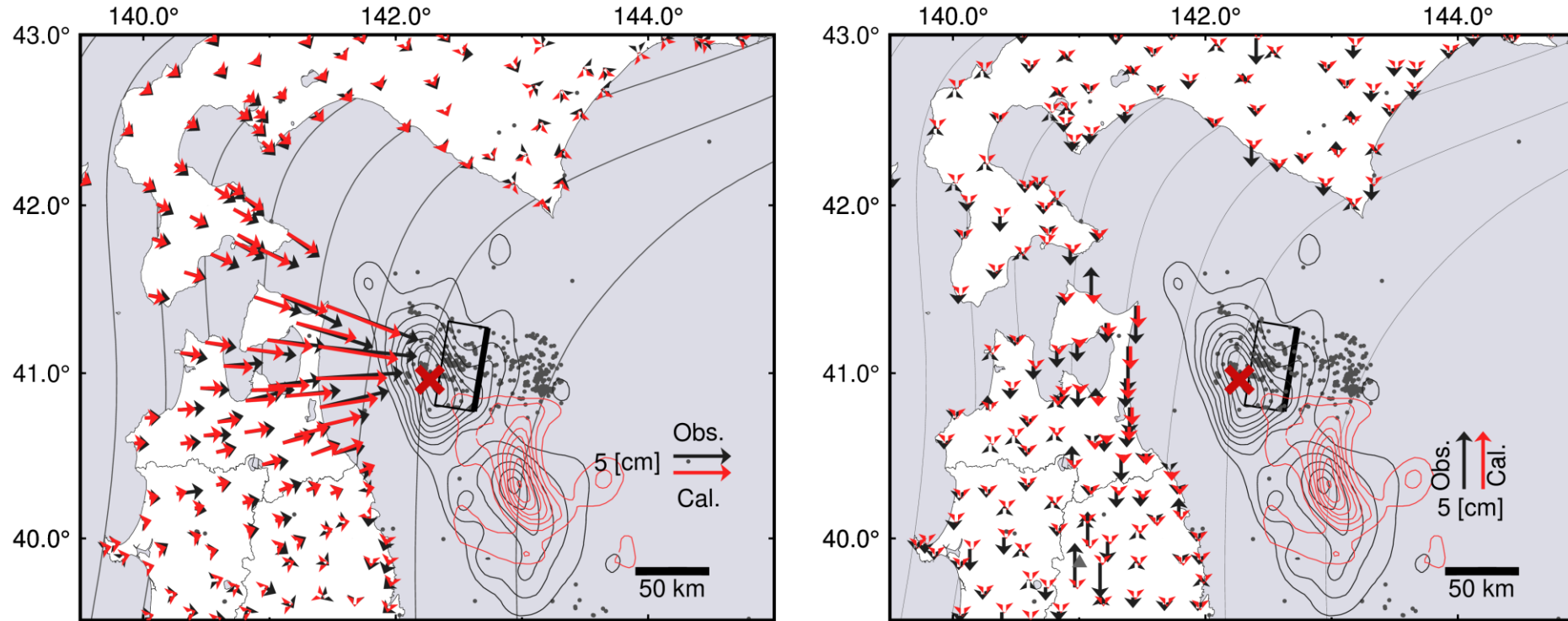


青森県東方沖の地震（12月8日 M7.5）の断層モデル（暫定）

基準期間：2025年12月6日21:00～12月8日20:59 JST（Q5解：迅速解）

比較期間：2025年12月9日00:00～12月9日08:59 JST（Q5解：迅速解） 固定局：猿払（950101）



Lat. [deg.]	Lon. [deg.]	Depth [km]	Strike [deg.]	Dip [deg.]	Length [km]	Rake [deg.]	Slip [m]
41.272	142.728	27.846	188.282	21.113	56.366	76.118	2.400
(0.238)	(0.143)	(17.368)	(20.974)	(12.755)	(11.146)	(22.890)	(0.838)

Mw: 7.41 (1.72×10^{20} Nm)

VR: 76.1 %

Mwの計算においては剛性率40GPaを仮定した。

震源断層モデルのパラメータはマルコフ連鎖モンテカルロ法を用いて推定した。

位置は断層の左上端を示す。括弧内は誤差（1σ）を示す。

断層長さ：断層幅は3:2に近づくように拘束した。

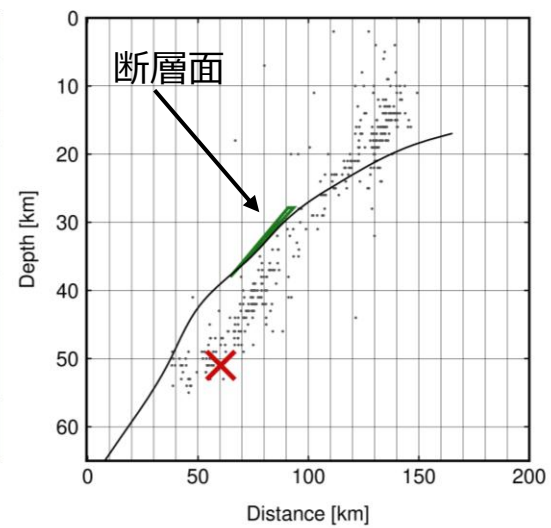
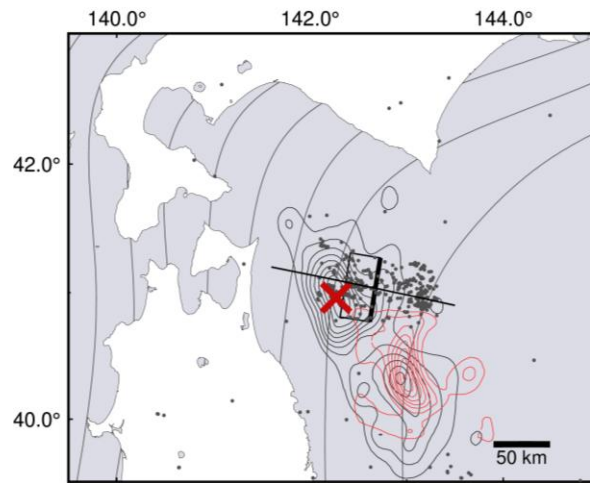
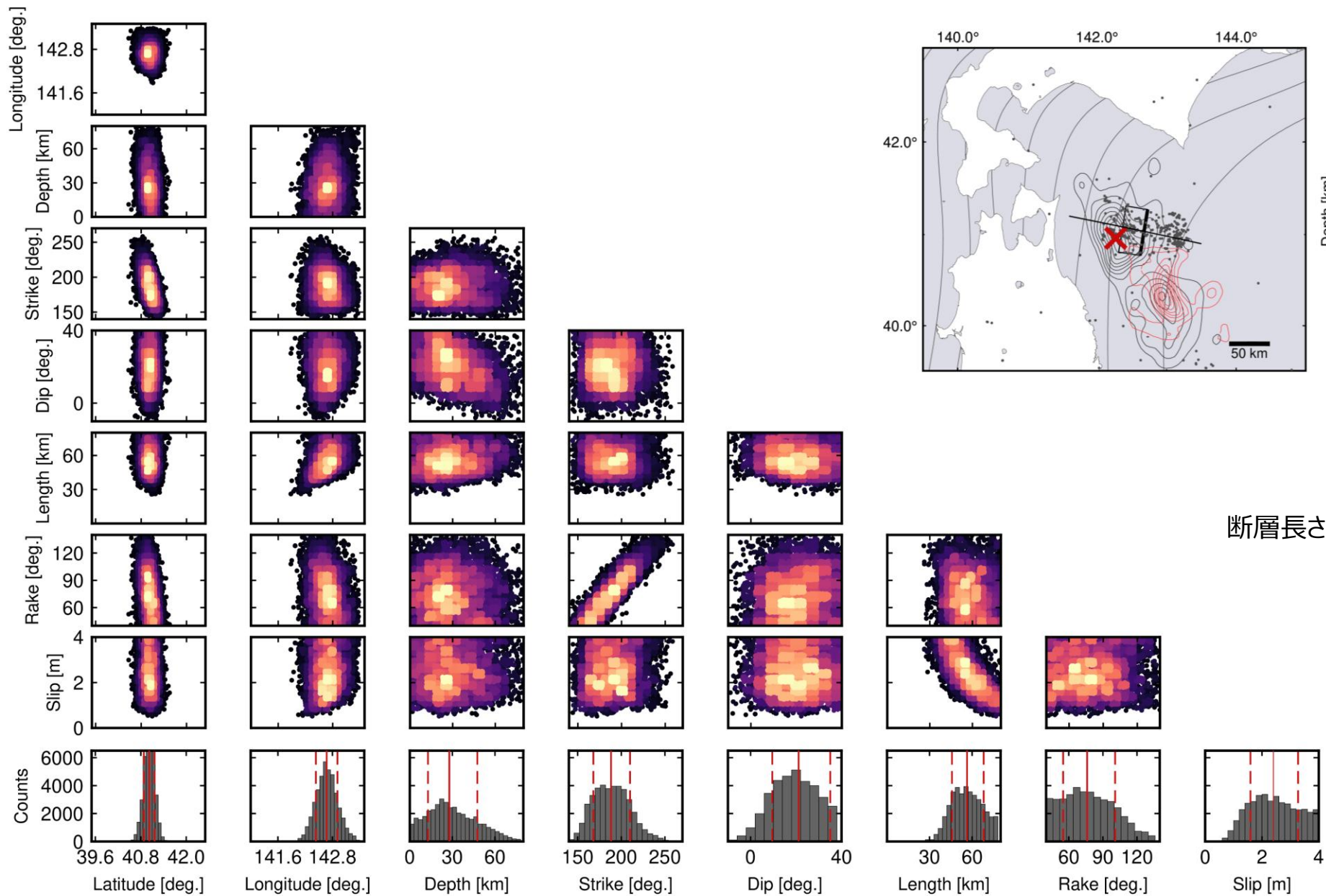
点は震源分布（気象庁一元化震源）：2025年12月8日～9日

太平洋プレート境界面はIwasaki et al.(2015) を参照した。

黒コンターは1968年十勝沖地震のアスペリティ、赤コンターは平成6年（1994年）

三陸はるか沖地震のアスペリティ（永井・他, 2001）を示す。

参考：コーナープロット



断層長さ：断層幅 = 3 : 2